

「河川地形とさまざまな気象災害2(河岸段丘と氾濫原)」

名前

コンテンツ URL : <https://storymaps.arcgis.com/stories/7e072c039d944d3da2f05c81a93c0c33>

問1 利根川上流の群馬県沼田市とその周辺の地域について、下の問いに答えよう。

① 赤色立体地図を見ると、利根川と片品川の周辺には階段状の地形が見られる。このような地形を何とよぶか答えよう。

--

② Aの場所とBの場所の土地利用を衛星画像と地形図から読み取り、そのような土地利用になっている理由を地形的な面から考えてみよう。

場所	土地利用	その理由
A		
B		

③ 片品川の南東側にある比較的平坦な地域について、1929(昭和4)年と比べて違う点を二つあげてみよう。

--

問2 利根川下流の千葉県香取市や茨城県稲敷市付近について、下の問いに答えよう。

① Cの結佐集落はどのような場所に発達してきたのか考えてみよう。

--

② Dの場所は明治時代のころには湿地や畑などがあつた。このような場所は大雨の時に重要な役割をもっていたが、このような役割をもつ場所の名称とその役割を考えてみよう。

名称	としての役割
役割	

③ Eは東北地方太平洋沖地震の際に液状化現象が発生した地域である。液状化現象はどのような場所で発生しやすいか、場所とその理由を考えてみよう。

名称	
特色	